

Mizuho Daily Market Report

2023/11/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.38	150.95	▲0.73	+0.72
EUR	1.0563	1.0570	▲0.0005	+0.0004
AUD	0.6335	0.6393	+0.0056	+0.0084
SGD	1.3703	1.3681	▲0.0016	▲0.0026
CNY	7.3194	7.3160	▲0.0004	▲0.0012
MYR	4.7701	4.7717	+0.0085	▲0.0083
THB	36.28	36.23	+0.29	+0.04
IDR	15948	15935	+50	+65
PHP	56.82	56.73	+0.00	▲0.13
INR	83.28	83.29	+0.03	+0.10
VND	24579	24587	+22	+16

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.734%	▲19.7 bp	▲22.1 bp
日本(10年)	0.961%	+1.4 bp	+10.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.764%	▲4.2 bp	▲12.5 bp
オーストラリア(5年)	4.546%	+0.7 bp	+17.2 bp
シンガポール(5年)	3.303%	+1.9 bp	+2.5 bp
中国(5年)	2.539%	+0.1 bp	▲1.6 bp
マレーシア(5年)	3.849%	▲0.5 bp	+0.4 bp
タイ(5年)	2.894%	+0.5 bp	▲7.8 bp
インドネシア(5年)	7.000%	▲4.5 bp	▲12.6 bp
フィリピン(5年)	6.646%	+0.0 bp	+6.0 bp
インド(5年)	7.353%	+0.8 bp	+1.9 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,274.58	+0.7%	+0.7%
N225(日本)	31,601.65	+2.4%	+1.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,091.71	+0.8%	+0.5%
ASX(オーストラリア)	3,967.55	+0.3%	▲0.6%
FTSE(シンガポール)	3,076.77	+0.3%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,023.08	+0.1%	+1.6%
KLSE(マレーシア)	63,591.33	▲0.4%	▲0.7%
SETI(タイ)	6,642.42	▲1.6%	▲2.8%
JKSE(インドネシア)	1,435.33	▲0.5%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	5,973.78	+0.0%	▲1.3%
SENSEX(インド)	1,379.96	▲0.1%	▲1.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,039.66	+1.1%	▲5.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.08	▲0.7%	▲1.4%
金	1,982.53	▲0.1%	+0.1%
原油(WTI)	80.44	▲0.7%	▲5.8%
銅	8,030.00	+0.0%	+0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.80	—	151.50
EUR/USD	1.0470	—	1.0700
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3600	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3280
USD/INR	4.7120	—	4.8380
USD/THB	35.90	—	37.20
USD/IDR	15830	—	15970
USD/PHP	56.50	—	57.00
USD/VND	83.00	—	83.45
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は150円台半ばの水準でオープン。米追加利上げ観測の後退を背景とした前日のドル売りの流れが継続し、150円台前半まで下落。その後は米金利の低下が一服したことでやや上昇するも、上値重く推移。結局、150円台半ばの水準で海外時間へ渡った。アジア通貨は概ね対ドルで上昇。今週行われたFOMCにて政策金利の据え置きが決定され、極端な効派姿勢を示さなかったことが支援材料になった。

海外市場のドル円は米金利が欧州時間に掛けて低下する動きに連れ軟調に推移し、150円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米第3四半期単位人件費が予想より大幅に低下した内容となり、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化した内容を受け、再びドル円は売りが優勢となり、149円台後半まで値を下げる。その後低下していた米金利が反転上昇に買戻しが入り、150円台半ばまで戻す。NY時間午後は米金利上昇一服に伴い、150円台半ばで揉み合いとなり、同水準を維持しクロス。

【金利】

米債金利は小幅に低下。2日発表の米経済指標がインフレ圧力や労働需給の緩和を示したと受け止められた。1日のFOMCを受けて市場の追加利上げ観測が後退しているのに加え、翌日に10月の米雇用統計発表を控え、持ち高調整目的の買いも入った。

【予想】

本日は米雇用統計に注目。足元、日銀金融政策決定会合後の円売り圧力とFOMCを受けたドル軟調地合いが拮抗しているが、仮に本日の雇用統計が弱い結果となれば、米長期金利の一段低下要因となりドル円も連れ安となるだろう。

【本日の予定】

(日本) 休場 文化の日
(アジア) 10月 インド PMサービス業
(アジア) 10月 シンガポール PMI
(アジア) 10月 フィリピン PMI製造業
(アジア) 10月 中国 CaixinPMサービス業
(アジア) 10月 豪 PMサービス業(確)
(アジア) 10月 韓国 外貨準備高
(アジア) 3Q 中国 経常収支(速)
(アジア) 3Q 豪 小売売上高インフレ調整前
(アジア) 9月 シンガポール 小売売上高
(欧州) 10月 英 サービス業PMI(確)
(欧州) 10月 英 外貨準備高変化
(欧州) 9月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 9月 独 貿易収支
(米国) 10月 ISM非製造業景況指数
(米国) 10月 サービス業PMI(確)
(米国) 10月 失業率 予想: 3.8% 前回: 3.8%
(米国) 10月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.2%
(米国) 10月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想: 168k 前回: 336k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。